

# 同推協だより

No.130

2022年 6月発行  
神前地区同和教育推進協議会  
Email: kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp

## 2022年度神前地区同和教育推進協議会総会が無事終了しました。



5月13日(金)、2022年度の同推協総会を無事に終え、各自治会や各団体から推薦されてみえた新しい啓発委員のみなさんを迎え、いよいよ新体制での活動が始まりました。

今年度の活動方針は、次のように提案され、承認されました。

- ① 部落問題を神前地区住民にとって、自らの生き方にかかわる問題としてとらえる。
- ② 差別をなくしていくには、自分に何が出来るかを考える。
- ③ 誰もが心豊かに安心して住める町づくりを進める。

さらに来年、神前同推協設立50周年を迎えることから、今年度はその記念行事開催のための準備期間とするということでした。

そこで、新役員、新部員の方々と一致団結して方針に従い、活動をさらに進めたいと思います。

## 2022年度新役員・新部員の紹介と新会長・新部長の所信表明！

今年度神前地区同推協活動をリードしてくれる、役員さん方を紹介します。

### 【本部役員】

会長	近藤 静夫さん
副会長	武藤 清さん
副会長	増田 孝幸さん
書記	中川 里美さん
会計	林崎恵美子さん

### 近藤新会長さんから

今年度、神前地区同和教育推進協議会の会長に就任しました近藤静夫です。1年間よろしくお願ひ致します。

今年度の神前同推協の目標は、

設立50周年を来年に控え、同和問題(部落差別)解消に立ち上がった先達の想いを受け継ぎ、神前地区を差別のない明るく住みよい町とするこの活動が、地域の住民のみなさまの身近なものとなるよう、今年度の役員、各部員、啓発委員の仲間と共に精いっぱい努力したいと思います。具体的活動では、6月の人権フェスタ、夏の啓発委員研修会、秋の町別・団体別懇談会、フィールドワーク、地区文化祭の開催(実行委員会)、2月の同推協のつどい、さらには設立50周年記念行事の準備等を計画しています。地域住民の方々も参加いただいでの人権学習、自己研鑽の場を例年通り設けます。また、井の中の蛙とならないように広く他団体の研鑽の場に参加して視野を深めることを地域の仲間と共に実践していきたいと考えております。根深い差別との闘いは、自分自身の振り返りから始まります。研鑽の過程では、多くの仲間と語り合うこと、考えを知ることが大切です。そして、共に指摘し合うことができれば、最良かと思ひます。周りの人には己を知ってもらうことで想いを伝える。たとえ共感を得られなくても、知ってもらうことの繰り返しを粘り強く継続する。そんな1年としたいと思ひます。



### 【総務部】

部長	嘉志摩芳夫さん
副部長	清水 浩己さん
書記	川村 まりさん
	山田 統雄さん
	森 孝行さん
	谷口 尚子さん
	上杉 達也さん

### 嘉志摩部長さんから

「副自治会長は自動的に同推協の総務部副部長になる。」と自治会長から言われて、同推協役員会に出席するようになってから1年たちました。しかし、役員会で述べられている集会名を聞いてもまだピンとこず、役員の方の名前を言われても顔が思い浮かばず、ましてや下の名前を使われては誰の事が皆目わからない状態です。そんな中、総務部長が同推協会長に選任されたため、副部長の私が総務部部長に昇格した次第です。

総務部の役割は、実動部隊の3部会が、同推協の方針に沿って各

プログラムの計画・実行をやりやすくするお膳立てをすることだと考えています。昨年度はコロナ禍のため、例年行われていた活動の多くが中止または縮小されましたので、私自身経験していないことが多くあります。経験豊かな方々の意見を聞きながら、コロナ感染を恐れ過ぎずに対策を考える等知恵を出し合いながら、コロナ前の活動状態に近づけるように頑張りたいと思ひます。



### 【研修啓発部】

部長	山口 香澄さん
副部長	中山 奈美さん
書記	佐藤 美重さん
	甲斐 洋一さん
	岡山 貞仁さん
	水口 美和さん
	山本 くみさん
	諸岡 由美さん
	松下 菜月さん
	光安 淑恵さん
	岡本 豊子さん
	坂本 竜也さん
	荻田 実樹さん

### 山口部長さんから

今年度も研修啓発部の部長をさせてもらう山口です。

研修啓発部は、夏に行う4回の啓発委員研修会を最大の行事として取り組んでいます。一昨年から新型コロナウイルス感染の拡大によって、計画していた通りの研修が行えませんでした。1年間を通して、啓発委員さんのみなさんに「どうしたら少しでも良い研修がしてもらえるだろうか。」と部員全員で考えて「人と話すことで、自分を振り返り、自分の中にある差別心に気づいてもらう。」ことが一番大切なことだと、みんなで考えました。では、自分を振り返るにはどうしたらよいのだろうか。そして考えたのが「私のものさし」です。人は知らず知らずのうちに「自分だけのものさし(価値感)」をもっています。その価値観が果たして本当に正しいのかどうか、なかなか考えることができません。それに気づくことができれば、人との違いがあつて当然だと分かると思うのです。

今年こそは、啓発委員研修を実施したいと思ひ、さらに部会で企画を練っていきたく思ひます。開催されればぜひ参加してほしいと思ひます。みんなでいっぱい話をしましょう。



### 同推協啓発委員 募集中

啓発委員になっていただける方は市民センターロビーに設置してあるポストにお名前を記入して投函してください。(申込用紙は置いてあります。)お電話でも、FAX、メールでも構いません。啓発委員になっていただければ委員研修やイベントに参加してもらったり、同推協の活動内容をお知らせを送らせてもらいます。

【問合せ先】地区市民センター内 団体事務局 Tel・Fax 327-1501 (受付午後)

Email: kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp



【企画部】

部長	坂倉 乾三さん
副部長	土性 明美さん
書記	田中ゆかりさん
	二宮 裕美さん
	飯田あゆみさん
	中山 芳広さん
	高橋 賢さん
	小出 恵子さん
	山本 峻也さん
	大西 己奈さん
	石田 圭市さん

る場にしたいと考えています。みなさんのご協力をお願いします。

【広報部】

部長	川北 敏さん
副部長	大森 嘉春さん
書記	川森 湧子さん
	南 由美子さん
	川村真由美さん
	林崎 未佳さん
	荻 佳成さん
	西村 彩花さん
	小林 明子さん
	吉田 弘一さん

想いを聞いてもらい、いっしょに考えてほしいと思っています。神前地区では、「生きにくい人がいなくなるように。」「みんなが何の気兼ねもなく、いろいろな人と当たり前のように話し、活動できるように」になってほしいと願い、同推協だよりを発行していきます。

(紙面の関係で「企画部」と「広報部」の部員集合写真は、次回に掲載します。お楽しみに！)

同推協(広報部)からお知らせ 「読者の声」を募集します。

同推協では、人権問題を自分事と考えてもらうために、読者のみなさまが普段の生活の中で「これっておかしいんじゃない。」ってふと思ったことを募集します。新聞の記事やテレビやラジオ、ネットのニュース、お買い物の時、友達とおしゃべりしているとき、いろいろな時に納得いかないことがあると思うのです。そのことを「わたしは〇〇だと思うのだけど、みなさんはどう思いますか。」と問いかけとほしいと思います。そんなこと思ったことがないという人にとって、気づきがあると思うのです。市民センターロビーのポストに入れていただくか、FAX、メールでお寄せください。同推協だよりに掲載させてもらうかもしれません。

坂倉部長さんから

企画部長として、早いもので4年目を迎えます。まだまだ不慣れで、行事の日程や内容の進め方など十分に行えず、いまだに役員さんや部員の方々に協力してもらっている次第です。

今年度の方針としては、部落差別をはじめとするいろいろな差別に対する意識を高め、行動する力をつけるために、一年間に数回の研修のできる集会や行事を計画することです。

目標としては、最近のコロナ禍で行事や研修、活動の中止や規模の縮小を余儀なくされていますが、差別問題に対する発言や行動に日頃から意識を持ち続けられる活動をめざします。又、計画する行事などは、内容のある有意義なものにしていきたいと考えています。そのためにも、今年から部員になっていただいた方々とも早く慣れ親しみ、月一回の部会が気兼ねなく意見を出し合える

川北部長さんから

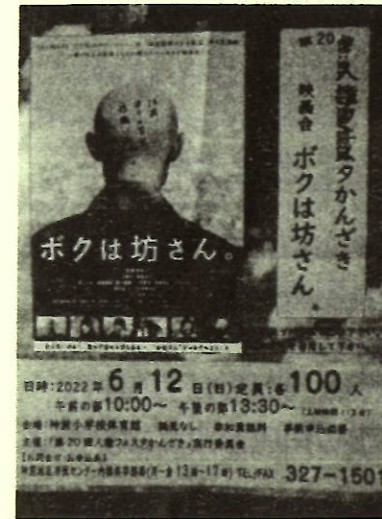
若いお父さんのお話です。

彼は、高校時代に「なんで差別されるんや。こんな家に生まれやんだらよかった。」と発言してしまったそうです。

誰しも家族にとっては大切な一人であるはずなのに、彼がそう思ってしまったことを、私は悲しく思いました。誰一人として彼のような思いをしなくていいように、一人一人が大切にされ、温かく光り輝いて生きていけるように、啓発活動を続けていきます。

10人の部員さんと共に、今年は「生活の中でおかしいなあと思ったこと。」「なんだかこれって違うんじゃないのかな。」と思ったことを持ち寄り、みんなでその違和感の正体を見つけようと思っています。それもみなさんにも読んでいただいて、私たちの

「第20回人権フェスタかんざき」が開催されます。まだ間に合うかもしれません。観覧ご希望の方はご連絡を！



今年度の人権フェスタかんざきは、コロナ禍での開催ということもあり、参加していただくみなさんに、「人権」について、一人でじっくり考えてもらうための映画会を開催することとしました。

6月12日(日)の10:00と13:30の2回です。「ボクは坊さん。」という題名の映画です。題名だけ聞くと、「人権と何か関係あるの?」という感じですが、見ていただくと、きっといろいろ考えてもらえる内容の映画だと思います。あまり詳しくは言いません。見ていただいて、みなさんなりに考えていただきたいと思います。見終わった後に、ぜひアンケートに感想を書いてください。

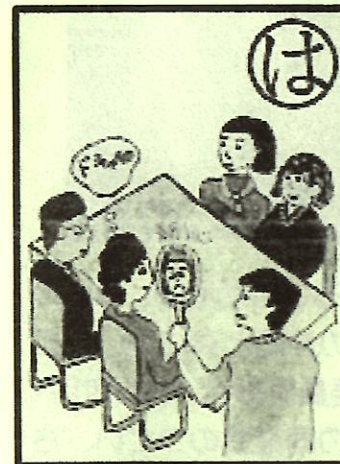
見ていただくためには申し込みが必要です。全戸に配布させていただきましたポスターの下に申込用紙が付いています。そこに必要

事項を記入して神前地区団体事務局(神前地区市民センター内)まで出してください。なくした方は電話連絡でも構いません。

(Tel 327-1501 但し事務局は13:00~17:00までですのでお気を付けてください。)

人権カルタコーナー 今月の1枚!

今年は、同推協だよりで「人権カルタ」を1枚ずつ紹介をしていこうと思います。20年前につくられた「人権かるた」です。みなさんはどう思われますか?



話すたび  
見えて来るよね  
わが本音

人権カルタとは?

2001年、同推協の一般公募啓発委員研修会で人権標語を作りました。その標語を「かるたを作ろうチーム」を募ってカルタに仕上げました。

この啓発かるたは、

- ① 啓発委員の役割、
- ② 差別が表れる場面を描いたもの、等

人権・同和問題の解決を願って、「みんなで考え行動しよう。」と呼びかけています。

よく「懇談会は何のために開催するの?」という声を聞きます。辞書で引くと、「懇談会

とは一定の人数が集まって開かれる、テーマに沿った意見交換を行う会」と書いてありました。

つまり、自分の考えや想いを話して、相手の意見や想いを聞く会です。決して、ディベートや討論会ではありません。相手に自分の意見を押し付けたり、相手の想いを換えようとする場ではないのです。自分の想いを話していくうちに、自分で自分の本音(本当に思っていること、考えていること)に気づく場です。懇談会に集まってもらった方々の想いを聞いて、「そういう考えもあったんだ。」「なるほど、自分とは違うんだな。」って思い、「ひょっとすると、自分の想いはどこか違うんじゃないかな。」って、自分を振り返ることができたら大成功だと言えるんじゃないでしょうか。

今年の地区別・団体別懇談会で確かめてみてはどうでしょうか?ぜひ参加してみてください。